

鹽谷長翰

（しほりや）

舊館林藩士。

天保六年七月出羽國東村山郡生れ、

大正十一年十月十日没。

（二三一―二三三）。

通稱田介。

號謙堂。

江戸に經

書を學ぶ。

又久元年關西各地に赴き勤王の上と云はる國事を奔走。勤

王に決した藩意通達に使者として上洛。大政官更に執政通達書の書状を

提出。慶應四年民政部省大祐、

明治二年登米縣大參事、

前後東北各地を

歴任。九年銀行業に轉じ、二十七年邑樂郡長となる。

著書『回顧録』

（大正七年五月）二十五日鹽谷恒太郎編輯）等。